

校長より 令和2年度 学校経営方針

1 校訓

「腕に覚えのある人間」 「筋金のおった人間」 「思いやりのある人間」

2 矢上高校将来ビジョン基本理念

「ふるさとを思い 地域の未来をつくる 人づくり」

3 令和2年度教育目標（育てたい生徒像）

- (1) 教養と技能を身に付け、目標に向かって主体的かつ誠実に行動する人を育てる。
- (2) 自他を尊重し、他者と協働して共に学び高め合う人を育てる。
- (3) 地域の産業や文化に関心をもち、地域や社会に貢献しようとする人を育てる。

4 令和2年度運営方針

- (1) 前例踏襲に陥らず、変化を恐れず、目的と成果目標を意識して取り組む。
- (2) 生徒の思いを受け止めつつ、きめ細かい指導、粘り強い指導を行う。
- (3) 部科長・主任のリーダーシップと責任のもと、分業・協業態勢を構築して取り組む。

5 令和2年度重点施策

- (1) 新しい学力観や入試制度に対応できる授業力の向上
 - ・評価のあり方と新教育課程の検討
 - ・生徒の授業アンケートや互見授業を活用した授業改善
 - ・模試分析による学力動向と入試傾向の把握と対応
 - ・キャリアパスポート事業の取組開始
- (2) 本校の魅力化・特色化の一層の推進
 - ・新将来ビジョンの策定と魅力化コンソーシアムの構築
 - ・総合的な探究の時間の大幅リニューアル
 - ・産業技術科の資格取得・検定合格率向上、工業コースの特色化
- (3) 「自律・成長の場」「地域参画の場」となるような寄宿舎の運営
 - ・生活規律の確保と学習態勢の強化
 - ・寄宿舎行事の充実と地域行事参画機会の創出
 - ・食育の視点からの摂食指導
- (4) 多忙・多忙感の解消につながる「働き方改革」の推進（R2重点モデル校）
 - ・業務アシスタントの積極的活用
 - ・会議・議題の精選と時間短縮の工夫
 - ・部科長・主任のリーダーシップのもとで分掌内の業務分担を平準化
 - ・試験監督の平準化、舎監勤務の平準化
 - ・部活動指導における副顧問・部活動指導員との役割分担